

1 施設の概況

平成 28 年度の入退所実績における第三四半期までの到達点は次のとおり。入所実績については、年間受入目標 84 世帯のうち 46 世帯、54.8%の達成となっており、平成 27 年度に引き続き受入数の向上が改善すべき重要課題として挙げられる。退所実績については、48 世帯が退所して目標達成率は 84%と昨年度に比して若干低下した。このような中で入退所実績の向上を図るために、福祉事務所説明会や施設見学会に取り組むとともに、施設の案内パンフを地元区はもとより利用実績の多い近隣の区市の福祉事務所へも範囲を広げて郵送等による PR 活動を行って入所実績の向上に取り組んできた。その結果、平成 27 年度対比で地元区の福祉事務所からの入所世帯数が 46.2 ポイント増加し、総受入数の 42.2%を占めるに至った。利用世帯をめぐる状況については、単身・家族の受入れ割合が 7:2 で家族世帯の入所が少なく課題となっていること、利用者の属性において、単身世帯で精神疾患を有した世帯が過半数に迫っているほか、家族世帯では DV 関連世帯の割合が過半数を占めていることが特徴として挙げられる。また、利用者の中には疾病等から身の回りの整理整頓ができず居室の「ゴミ屋敷」化を招いてしまう事例がある。そのため、火災対策と安全安心の確保に向けた確固とした指導・支援が求められる場合が少なくない。

2 主要目標と取組

- (1) 23 区の負託に応えた柔軟で迅速な受入れ、目的達成による転出促進
 - ① 福祉事務所説明会や施設見学会の定期開催、案内パンフの配布（郵送等）
 - ② 入所目的の達成に向けた施設・実施機関・関係機関との協働による的確な支援
- (2) 個々の利用者のニーズに応じた的確な支援及び女性・家族への専門的支援
 - ① バックアップセンター事業や施設の独自事業等を組み合わせた適切な支援の実施
- (3) ボランティアを活用した潤いのある施設生活の提供、生活意欲の向上を支援
 - ① 季節行事（七夕、夏祭り、クリスマス、雛祭り）を通じた潤いのある生活の提供
 - ② 生活意欲の向上に向けたボランティア（アロマセラピー・編物、園芸等）の導入
- (4) 利用者の意向を反映した施設運営に努め利用者の権利擁護を推進
 - ① 利用者懇談会やアンケート調査をとおして利用者の意向を把握し、施設運営に反映
 - ② 苦情解決や個人情報保護を重視し、権利擁護を推進
- (5) 年間入所目標（対定員利用率）

定員	29 年度目標	28 年度目標	28 年度実績（見込）
38 世帯	84 世帯 (221.1%)	84 世帯 (221.1%)	76 世帯 (200.0%)

3 管理運営

- (1) 日常の援助
 - ①安心・安全の確保
 - ア 不審者侵入防止対策の推進（門扉・防犯カメラの活用・ビデオの確認、定期巡回等）
 - イ 安否確認と日常的な声掛け、喫煙場所の使用の徹底による安心・安全感の確立
 - ウ 緊急受診等安心して受診できるように地域の医療機関と日常的な連携の強化
 - ②充実した生活支援
 - ア 実施機関と連携し個々のニーズに即した支援、支援遂行のため各種社会資源を活用
 - イ バックアップセンター事業の活用及び子育て支援事業利用者への助成金の給付拡充
 - ウ 施設独自事業（心理カウンセリング等）を活用し、DV 等心理的苦痛の軽減と心理的安定を支援。女性施設としての安心感と生活意欲の向上を達成できるよう支援
 - エ 潤いのある日常生活支援のため各種地域ボランティアの導入
 - ③情報の提供、個人情報の保護
 - ア 懇談会、各種掲示物、配布物等で必要な情報を提供し、充実した生活に向け支援
 - イ 個人情報保護の徹底を図るとともに支援に必要な情報は関係機関と共有

(2) 自立促進・転出促進

①社会的自立に向けた支援

ア 生活能力の見極めと安定した居宅生活の確立に向けた関係機関と連携した支援

②地域生活移行支援

ア 住宅相談等バックアップセンター事業の活用、地域の仲介業者及び引越業者の斡旋

③就労支援

ア バックアップセンター・ジョブステーション等の就労支援事業の活用等

④地域生活定着支援

ア バックアップセンター事業の活用及び相談援助等アフターフォローの実施

(3) 諸行事

①定例行事: 懇談会(年4回)、七夕・夏祭り・クリスマス・雛祭り

②グループ活動:編み物、園芸

③その他の活動:心理相談、傾聴、アロマセラピー、草取り、季節行事ボランティア

(4) 消防・防災等

①法人防災一斉訓練を通じたBCPによる総合的な防災訓練の実施

②定期総合消防訓練(年2回)の実施、管轄消防署との連絡調整

③入所時や消防訓練時での消防設備・避難経路等の周知徹底、防災意識の向上

④防災設備の整備点検及び災害用備蓄品の確保充実・適正管理

(5) 職員会議等

①毎朝の引継ぎや指導業務日誌、定例職員会議等を活用した利用者情報等の共有化

②管理人との連携強化による情報の共有化と施設管理の徹底

③OJTによる人材の指導・育成、資格取得等を通じた自己研鑽の奨励

④集合研修への参加体制の調整、主体的参加を通じた職員資質・支援力の向上

(6) その他

①ブロック中核施設と連携し福祉事務所説明会や施設見学会の定期開催

②施設の利用促進に向けた案内パンフレットの増刷・活用

4 保健衛生・環境整備

(1) 保健衛生

①バックアップセンター事業や施設独自事業を活用した健康管理の推進

②施設内衛生管理の徹底(受水槽清掃・飲料水の水質検査・防虫消毒等)

(2) 環境整備

①施設内の環境整備及び施設内緑化整備による環境意識の向上

②樹木の剪定・花壇の整備を通じた地域環境の向上への貢献

5 施設の社会化(地域交流事業及び施設機能強化推進事業)

(1) 町内会等地域組織との協力関係の促進

(2) 地元町会の行事等への積極的参加(地域防災訓練への参加)

(3) 地域の関係機関(小中学校・医療機関・警察・消防・行政機関等)との連携

(4) 地元区のボランティア支援制度等社会福祉協議会の諸支援制度の活用

(5) 施設周辺の美化・保全への協力(クリーンデイの創設、清掃作業による関与)